

いてふ

ICHO No38 2020 7



Hofu Institute of Gastroenterology

一般財団法人

防府消化器病センター

消化器疾患を中心に
質の高い, 安全で, 温かみのある医療を提供し
予防医学, 研究事業を通して
地域社会に貢献します

新型コロナウイルス事情 防府消化器病センター研究所長・消化器内科 岡崎幸紀

この3か月間は、世界中が新型コロナウイルス COVID19の感染予防に席捲されました。日本はいわゆる3密「密集、密接、密閉。」と「不要不急」の対策効果で感染拡大はどうか防がれ、ひとまず終息に向かっています。

日本の新型コロナ感染状況と死傷者数は、ベトナム、韓国とともに人口比率も絶対数も少なく済んでいます。ベトナム、韓国はPCR検査を速やかに進めた結果と評価されていますが、日本は検査が間に合わず、症状が疑われた人のPCR検査を優先しました。このため、欧米からは軽症患者が隠れていると批判されましたが、その後、挨拶の仕方、握手やハグをしない、マスクの着用、日ごろの清潔意識など日本人の生活習慣が改めて認識され評価されました。

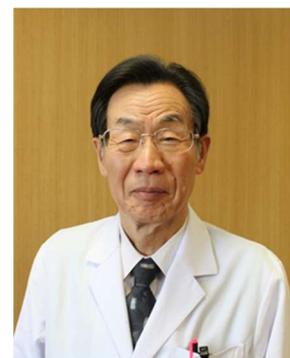
日本で当初症状のある人を優先し、軽症の方の検査を制限したことは、結果的に医療崩壊を辛うじて防ぐことになりました。当時、軽症の新型コロナの患者さんを収容していましたら、病院のベッドはたちまち不足し、医療スタッフの不足は悲劇的でした。当初の方策が批判はされましたが、わずかの時間稼ぎとなり、この間に態勢を整えることができたことは、日本にとっては不幸中の幸いでした。

不要不急の思考のもと、一部のパチンコ屋さんを除き、国民の皆さんは、よく我慢をし協力されたと敬意を評しています。

まずは一時感染はどうかクリアできましたが、かつてのスペインカぜのように、2波、3波への警戒が必要です。すでに韓国

や中国ではその兆しが窺われます。

しかし、何と言っても問題は、新型コロナウイルスの性状が未だに明らかになっていないことです。いつ、どこで発生し、どのようにして人に感染してきたのか不明です。ただし、3密対策で防御の可能性があること、呼吸器の障害が強いことから、インフルエンザに近いものと思われま



医師として気になることは、今回の感染患者さんに、「食べ物の味がしなかった。物の匂いがしなかった。」という症状が報告されています。これは舌や鼻の神経に変化が起こったこととなります。これまでのパンデミックにはみられない新しい症状です。この症状は回復していますので、一時的な神経の炎症が推測されます。しかし、これらの神経の周囲には多数の知覚や運動に関係する神経があり、医療者としては気がかりなところ

です。いずれにしろ、感染しないことが第一です。そして自分が感染すれば、無意識に周囲のたくさんの人に感染させることとなります。

暑さが募り、マスクの着用も煩わしくなりますが、3密の予防と不要不急を常に念頭に置き、少しでも疑わしい症状があれば、保健所や医療機関に相談をお願いします。

Message from our Director

スペイン風邪の教訓

病院長 三浦 修

スペイン風邪は、約100年前の1918年5月から1920年5月頃まで世界中で流行した当時の新型インフルエンザ(H1N1型)の俗称であり、パンデミックのため当時の人口約20億人の中で5,000万人以上が亡くなりました。

1918年当時は第一次世界大戦中であり、劣悪な栄養状態や衛生状態、過密な医療キャンプや病院の状況などが、細菌性肺炎などの重複感染を助長し、死亡者が急速に増加しました。また、ウイルスは中国からもたらされた可能性が高く、多くの中国人労働者を介し、また米国を中心とした連合国の兵士を媒介者として全世界に広まったとも言われています。日本国内でも、原因も分からない「悪性感冒」として患者数が急増し、医療が崩壊していった惨状が報告されています。

現時点で人類は、新型コロナウイルスに対するワクチンを未だ手に入れていません。しかし、長い歴史の中で培った多くの経験を活かし、様々な叢智を結集し、良き文化を継承しつつ、従来の経済活動を再開しながら、この苦境を乗り越えていかなければなりません。

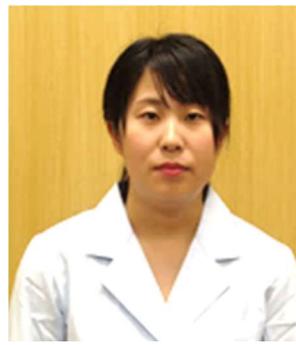
日本経済新聞によると、韓国やタイなど感染の初動で経済制限を導入した国ほど、厳しい都市封鎖を避けつつ感染も制御できるという傾向がみえており、職場閉鎖と外出自粛要請の効果を重要視しています。今後、県を越え、国を越えて人や物資の往来が復旧してきた段階で、第2波、第3波を如何に封じ込めるかがこれからの課題となります。

新入職員紹介



放射線技師 西谷 晴夏

4月から放射線科に配属になりました。まだまだ勉強不足ですが、少しでも皆様の役に立てるように頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願いいたします。



検査技師 小田 由喜乃

4月から検査科に配属になりました。1日でも早く仕事に慣れ、迅速に正確な結果を出せるように知識と技術を磨きたいと思います。よろしくお願いいたします。



看護師 伊達 貴子

4月から手術室に配属になりました。患者さんと御家族に寄り添った看護を提供できるよう、日々の業務に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



看護補助者 山田 三恵

4月から3階病棟に配属になりました。まだ分からない事も多いですが、教えていただいた事を早く覚え、業務に励んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



看護補助者 田中 未夢

4月から看護補助者として4階病棟に配属になりました。早く仕事を覚え患者さんのお役に立てる看護を提供できるよう頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



Renkei

地域医療連携室より

★肛門外科外来診察の変更

日高医師：7月10日（金）から診療開始
12:00～14:00 診察 14:00～手術予定

	月	金
午前	/	
午後		
	竹尾(再診)	竹尾
		日高(※1)

※1 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。ご迷惑をお掛け致しますが、何卒御了承ください。

★新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、面会制限等でご家族の方々にはご不便をおかけしております。当院では、継続して面会制限、マスク着用をお願いしております。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。コロナ感染が一刻も早く収束することを願っています。

外来診療予定表							
	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	藤原 9:00~	三浦	三浦	藤原 9:00~	三浦	交代制
	2診						
	3診	三浦	竹尾	竹尾	竹尾 9:00~		交代制
	5診	生形	宮崎	生形	田口/好中 (交互)	生形	交代制
	6診				宮崎		
	肛門外科					竹尾	
午後	1診	生形(※1)	休診	宮崎(※1)	休診	休診	休診
	肛門外科	竹尾(再診)	休診	休診	休診	日高(※2)	休診
		診療日時		受付時間		診療時間	
平日	午前		8:00~11:00		8:30~		
	午後(月・水)		13:30~16:30		14:00~		
土曜日	午前		8:00~11:00		8:30~		

※1 都合により代診になる場合があります。

※2 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。

土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL : 0835-22-3339 (代表)

H P : <https://www.hofu-icho.or.jp>



■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2 分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10 分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

Editorial Note

あっという間に、というあたりきりではありますが「2020」も半分が過ぎ去りました。「謎の肺炎騒動」で始まった新年明け、世の経済もここまでのことになるとは想像できませんでした。自然の恐ろしさと豊かさは表裏一体です。ヒトの都合など全く関係ない世界で事象が進みます。無常、無情に胸が痛むところですが、生かされている側の存在としては、粛々とできることをやっていくしかないのだと痛感させられました。夏マスクも人生お初です。脱水に気を付け、栄養・体調管理などできることで対応いたしましょう。事務局長 栗林左知